

Ritsumeikan Pan-Pacific Civilization Studies

環太平洋文明研究

目次 Contents

第6号 2022年3月

巻頭カラー図版

投稿規程

論文

生態学的環境と複雑社会の性格

中嶋直樹 ————— 1

研究ノート

モンゴル北部ウランブルガス湖の珪藻および花粉化石群集と完新世後期の環境変化

福本侑・藤木利之・那須浩郎 ————— 25

不適切な土地利用が拡大させる災害

—災害と舟・鉄道・自動車による流通の関係—

高橋学 ————— 38

垣ノ島 B 遺跡出土漆糸製品の編布復原案と復原実験中間報告

尾関清子・末松万由子・矢野健一 ————— 54

投稿規程

1. 執筆・投稿資格

紀要に投稿できる論文等の執筆者は、立命館大学の教員（有期限雇用の教員を含む）または本センター客員協力研究員、および大学院生（原則として指導教員の推薦を要する）。上記以外の学者については、編集委員会の承認を得たうえで投稿を認める。

2. 審査

論文の掲載可否は、査読者による審査を経て、編集委員会で決定する。また、研究ノート、書評、資料と通信は、原則として査読は行わないが、体裁や形式等に関して編集委員会から修正を依頼する場合がある。

3. 原稿の種類

- (1) 論文（特集、および個別論文）：未発表のオリジナルな研究論文
 - (2) 研究ノート：研究・調査の中間報告
 - (3) 書評：内外書籍の紹介と批評
 - (4) 資料と通信：講演会、シンポジウム、研究会等の活動記録およびニューズレター
- その他、上記の枠に入らない論文や企画でも、本センターにおける研究活動の発展に寄与しうる有意義な論文や企画であれば、編集委員会で検討する。

4. 原稿容量

- (1) 論文 日本語の場合、16000字～24000字（図表を含む）
英語の場合 5000語～7000語
- (2) 研究ノート 日本語の場合、8000字～16000字（図表を含む）
英語の場合 3000語～5000語
- (3) 書評 日本語の場合、4000字程度（図表を含む）
英語の場合 1500語程度

5. 原稿の体裁

- (1) 原稿の執筆
原稿には、本文のほかに、日本語で500字程度の要旨およびキーワード（5点以内）を添付するほか、欧文による表題、200～300語の要旨およびキーワードを添付して提出する。原稿の執筆に関する詳細は、別途「執筆要領」において定める。
- (2) 作成ファイル形式
 - ①文字（テキスト）：なるべくマイクロソフト・ワード形式あるいはリッチテキスト形式で作成する。これ以外のものを使用する場合は編集委員会に事前に相談する。
 - ②図・写真：できる限りデジタルデータで入稿する。ワード等に貼りこんだ図は印刷データとして使用できないため、入稿時には元データを提出する。イラストレーター作成の図は、ai形式データで提出する。写真などの画像データは、原則としてtiff、psd形式で提出する。元の画像ファイルは、使用サイズでカラー頁350dpi、モノクロ頁400dpi以上であること。図・表・写真は、印刷後の仕上がり寸法で、5ページ以内とする。
 - ③本紀要の体裁
本紀要はB5版で、1ページの版面はタテ207ミリ、ヨコ136ミリである。論文は1段組みで、1ページ39字×35行（1365字）である。
論文以外は2段組で、1ページ20字×38行×2段（1520字）である。
 - ④「執筆要領」は、本センターのHPまたは事務局への連絡により入手すること。

6. 原稿の提出

投稿原稿は、原則として電子メールで下記のアドレスに送信する。容量の大きいファイルは執筆者が転送サービス等を利用し送信すること。入稿時に必要なものは以下のとおりである。

- (1) 本文、図・写真、表のデータ。ファイル形式は上記に従うこと。
- (2) レイアウト見本（データ、手書きのいずれか）。編集委員会一任の場合はその旨を明記すること。
- (3) 著作権譲渡同意書は、郵送もしくは持参すること。

7. その他の注意事項・抜刷

掲載された論文等の著作権は、学校法人立命館に帰属する。論文を転載する場合や著書などとして公刊する場合は、事前に環太平洋文明研究センター事務局に連絡し了承を得ること。本紀要に掲載された著作は、刊行後3年を経た後PDF化され、立命館学術成果リポジトリ（R-Cube）上で公開される。論文・研究ノートについては、掲載誌1部と抜刷50部を進呈する。

8. 問い合わせ先

衣笠キャンパス 修学館 2F 衣笠リサーチオフィス 環太平洋文明研究センター
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL：075-466-3335 Fax：075-465-8342 / E-mail：rppc-st@st.ritsume.ac.jp